資料３

2024/5/28

ローズバスのルート変更について

ローズバスのルート変更について

令和６年度第１回岸和田市地域公共交通協議会

令和5年度

第１回協議会　（7月）
・乗車人数の推移
・利用促進策の取組み事例
・過去から現在に至るまでのルート改正に関する経緯

第２回協議会　（10月）
・乗込み調査などの各種調査結果取り纏め
・前回の改正後から現在までのローズバスをめぐる状況の変化や課題
・ルート・ダイヤの改正の考え方整理

第３回協議会　（1月）
・各種調査結果の分析報告
・変更に向けたルート案の方向性の整理に関する意見聴取

令和6年度

第１回協議会　（5月）
・新たなルートに向けた検討
・ルート変更に向けた課題の抽出

今回の協議会

第２回協議会
・詳細ルート案の比較検討

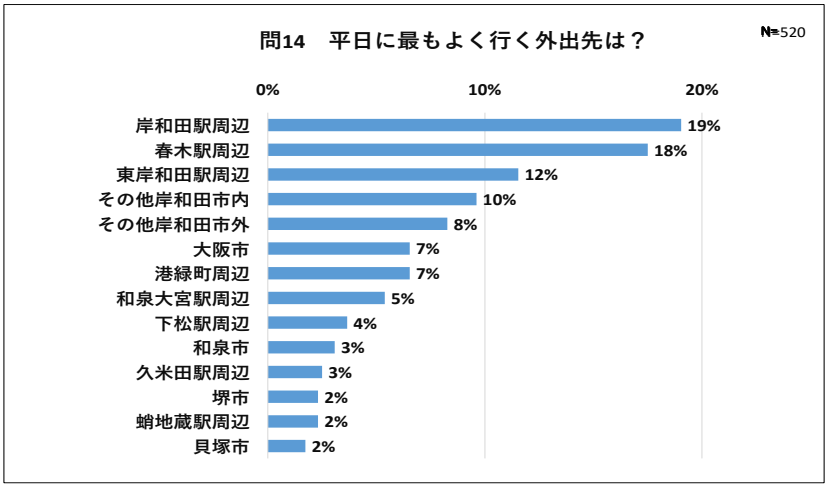
第３回協議会以降
・暫定ルートの提示
・ルートの評価
・地域公共協議会での合意を経て正式な法的手続き
・各種準備・周知活動

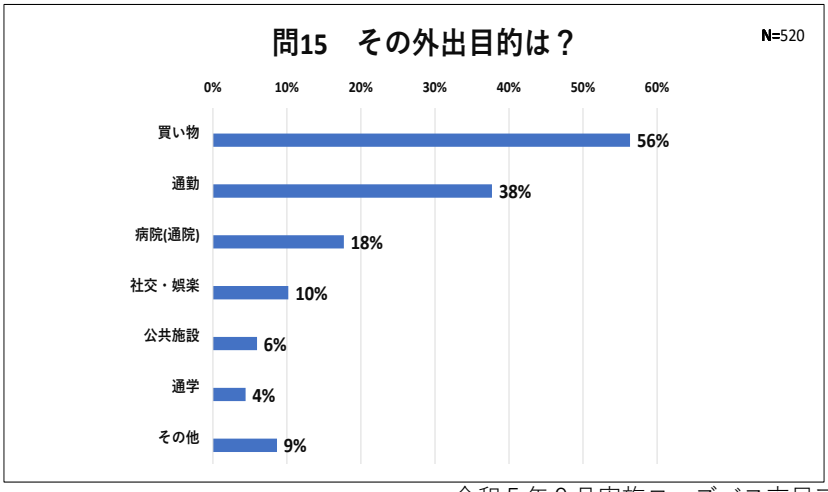
ローズバスのルート変更について

令和６年度第１回岸和田市地域公共交通協議会

『利用者拡大に向けた利便性向上を目指す』				
ローズバスのルート変更に係る4本柱				
4 本 柱	新たな需要の取り込み	新規需要に伴うルートの再検討	利用者増に伴う税負担の軽減	＋α の利便性向上
意　図	多様な特性(目的)をもつ拠点地区や施設への接続により、利用者の増加が見込めることが予想される箇所において、移動ニーズを踏まえた目的地(停留所)の新設が重要	バス停毎でバラつきが多く、今後のルート変更を行う上で、利用ニーズを踏まえた目的地(停留所)の設定、速達性(目的地までの移動時間)を考慮したルート設定が重要	利用者を増やすことによる税負担の軽減を図っていくことが重要なポイントとなる。 運行経費については、現在の運行経費から大幅に増大しないようにすることが重要	両回りルートの検討は利用者拡大に向けた解決策の1つである
着眼点	平日に最もよく行く外出先の上位である岸和田駅周辺・春木駅周辺・東岸和田駅周辺および、外出目的の上位である買い物、通勤、病院（通院）の需要をフォローし、利用者の移動ニーズと目的地までの速達性を考慮したルート設定となっているか		現行の運行経費から大幅に増大しないようなルート変更となっているか	両回り運行をメインとし、より乗降者数の増大を見込めるルート選びとなっているか

新たな需要の取り込み

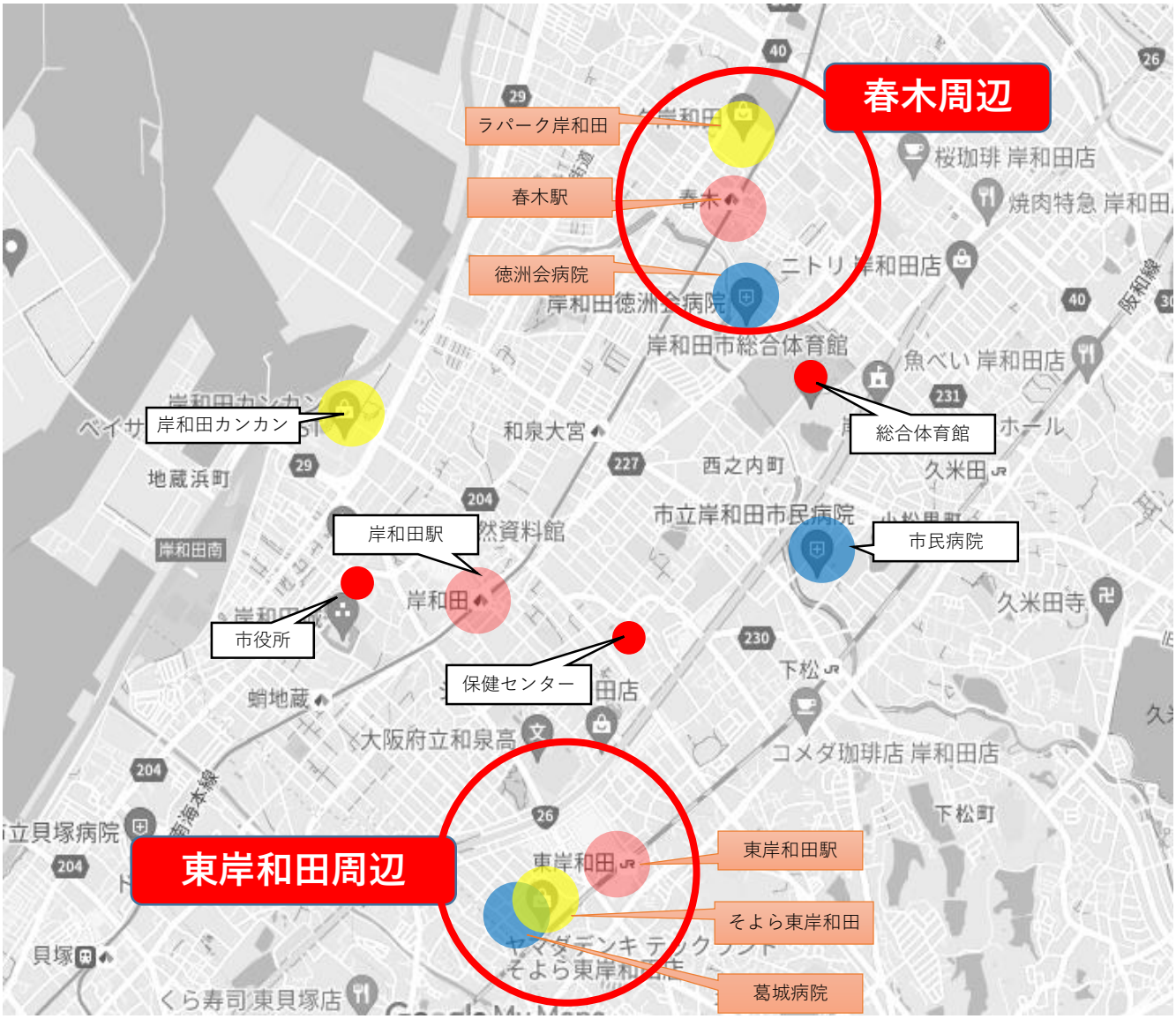




令和５年９月実施ローズバス市民アンケートより抜粋

ローズバスのルート変更について

アンケート調査の結果を基に新たな需要の取り込み



平日に最もよく行く外出先
1位：岸和田駅周辺　2位：春木駅周辺　3位：東岸和田駅周辺

外出目的
1位：買い物　岸和田カンカンベイサイドモール・ラパーク岸和田・そよら東岸和田
（大規模集客施設床面積10,000㎡を超える店舗、映画館、アミューズメント施設、展示場等）

3位：病院（通院）　徳洲会病院・市民病院・葛城病院
（一般病床200床以上）

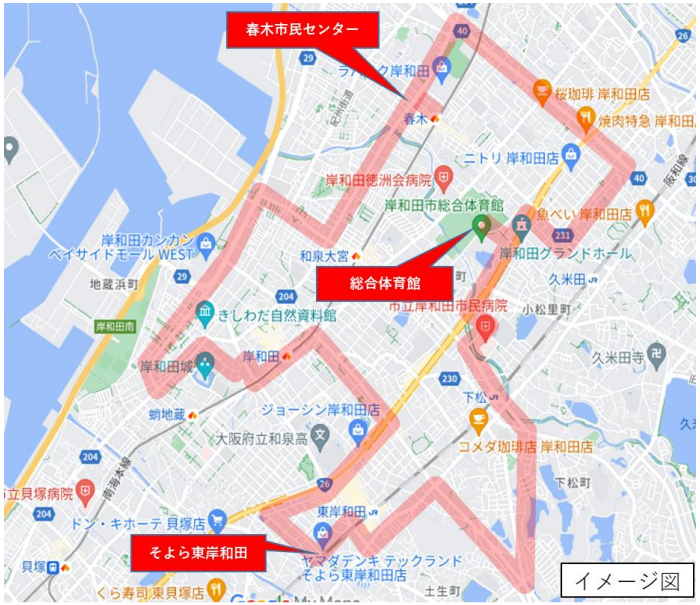
ルート案：抜本的な新たなルートイメージ

ローズバスのルート変更について

令和６年度第１回岸和田市地域公共交通協議会

抜本的な新たなルートイメージとの比較

抜本的な新たなルートイメージ



参考①：旧両回り運行時のルートへ戻す

参考②：現在のローズバスルートを両回り

抜本的な新たなルートと比べた評価		
ルート変更に係る4本柱	評価	問題点
新たな需要の取り込み	△	利用者拡大を目的に変更した以前の両回り運行のルートであるため課題が解決していない
新規需要に伴うルートの再検討		
利用者増に伴う税負担の軽減	△	現行と同様に2台で運行
＋αの利便性向上	○	両回り運行

考　察
利用者拡大を図るためにルート変更を検討した以前のルートであり、片回りとした現行ルートよりは利用者が多かったが、新たな需要の取り込みとして利用者ニーズを考慮出来ていない

抜本的な新たなルートと比べた評価		
ルート変更に係る4本柱	評価	問題点
新たな需要の取り込み	○	両回り運行により今まで不便と感じて乗らなかった人が新たに利用する可能性がある
新規需要に伴うルートの再検討		
利用者増に伴う税負担の軽減	×	バスの台数が2台→4台になり経費が増大
＋αの利便性向上	○	両回り運行

考　察
税負担を減らすために利用者を増やすことが重要なポイントではあるが、これ以上税負担が増えるのであれば廃止するという意見も多くあるため、バスの台数が倍増することによる経費の大幅な増大は不可である

抜本的な新たなルートにおける課題

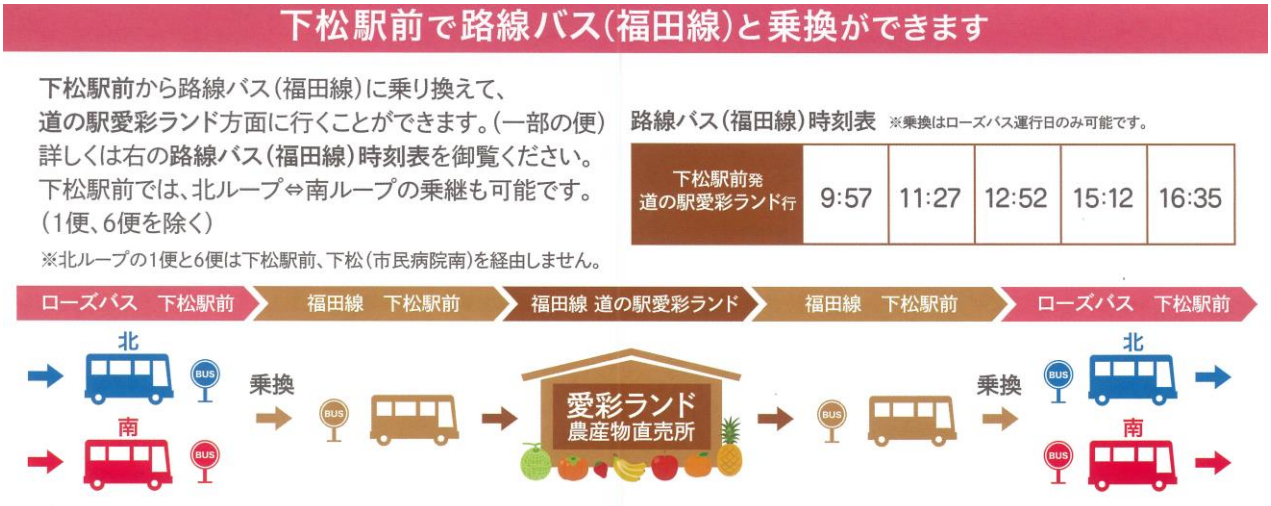
課題①新たな需要を掘り起こすための新規バス停

・東岸和田周辺
・春木周辺

課題②1周あたりの時間を短縮し、速達性の向上

・急行便の導入等

課題③下松駅での路線バス（福田線）との乗換



課題④新設バス停設置及び旧バス停復活

・バス停設置について地権者同意等

課題⑤法律改正に伴う運転手の連続運転時間

・運転手不足問題等

抜本的な新たなルートにおける評価

・利用者数

・収支率

・財政負担額

・満足度（認知度）